

水 土 里 レ ポ ー ト

投稿月日	2022年 12 月 15 日(木)
タイトル	第77回国民体育大会 いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会 ～戸田調整池～
水土里レポーター名	水土里ネット那須野ヶ原 星野 恵美子

令和4年10月2日水土里ネット那須野ヶ原が管理する「戸田調整池」において、第77回国民体育大会いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会トライアスロン競技が、開催されました。国体は、



新型コロナウイルス感染拡大により2年連続で延期、中止となり3年ぶりの開催となりました。

会場となった「戸田調整池」では今年も6月に、24回目となる関東学生選手権大会が開催されました。国体の会場に選定された理由の一つは、この学生の大会の実績によるものです。競技は、男女約100名の各県代表選手により、スイム1.5km、バイク40km、ラン10kmの3

競技を争う過酷な競技です。必死にゴールを目指す姿は、それぞれの地域の期待を背負いながら出場した選手や関係者はもちろん、観戦している人たちにも感動を与えました。

この那須野ヶ原土地改良区連合の主要施設である貯水量100万^mの「戸田調整池」は、上流の田んぼなどで使用していない時間に流れてきた水や雨水を一旦貯留し、必要に応じて下流の田んぼなどに流す施設で、小水力発電所

(那須野ヶ原発電所)が併設されています。さらに、降雨時には調整池の空き容量を利用して洪水調整機能を行うなど、市街地の溢水防止機能も備えています。このような「戸田調整池」などの農業用施設が様々な用途に使用され、地域交流の架け橋となっていることを広く知って頂くことが、これからの農業社会の在り方にも深く繋がっていくことと考えています。これからも地域と人々のコミュニケーション構築の場として、我々の施設が大いに活用されることを願っております。

